

# 夢と希望に向かって チャレンジしていく 子どもの育成を

愛知教育大学附属  
岡崎小学校長

坂柳 恒夫 氏



教育随想



平成21年7月1日

## 7月号

発行・編集  
岡崎市教育委員会

### 今月の紙面

教育随想 .....	1
愛知教育大学附属 岡崎小学校長 坂柳 恒夫氏	
この人に聞く .....	2
日本ハンギングバスケット協会 ハンギングバスケットマスター 太田 康徳氏	
羅針盤 .....	2
保健体育科指導員 中野渡善樹	
ふれあい .....	3
矢作南小 原田 真弓	
特集 .....	4
地域・学校、子供・大人のかかわり 学校開放に見る生涯スポーツの現状	
お知らせ .....	6
フォト・ヒストリー .....	8
伊勢湾台風襲来（昭和34年）	
この本を .....	8

子どもたちは、将来にどんな夢や希望をもっているのでしょうか。大人になったら、あんなことをしたい、こんな仕事をしてみたい……。

人は、将来に夢や希望をもつことができず、イキイキとした人生を送ることができません。夢や希望は、生きる元氣や勇気を与えてくれ、未来に向かって人を前進させてくれます。最初から、夢や希望を切り捨てていたら、そういう可能性自体がなくなってしまう。人生には、やっぱり「夢」が必要です。（子どもだけでなく、親や先生にも！）

自分の将来に夢や希望をもち、その実現をめざすにはどうしたらよいのでしょうか。登りたい山（夢や希望）が見つかったら、次に山の頂（目標）をめざして、自分から足を踏み出していくことが重要です。夢

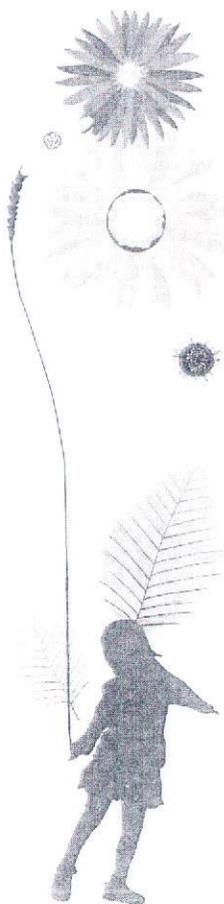
や希望をかなえるためには、具体的な行動を伴う目標を立て、自分から行動を起こさなければなりません。「棚から牡丹餅」でも、棚までは行かないと牡丹餅は落ちてきません。

人は、充実した幸福な人生を送りたいと思うから、そして、そこに夢や希望があるから頑張れるのではないのでしょうか。自分のかけがえのない、ただ一度きりの人生だからこそ、自分なりの夢や希望をもって生きていくことが大切です。自分の人生に

代役はなく、最後まで自分が主役です。失敗を恐れて何もしない人生では、後になってから後悔することになりかねません。

子どもたちには、明るい未来と無限の可能性があります。これからの学校教育では、生きる力の基本を身につけ、自分の夢や希望に向かってチャレンジしていく子どもを育てることが大切だと思います。

（さかやなぎ つねお）



# ふるさとシリーズ この人に聞く



## 出会いを大切に

日本ハンギングバスケット協会  
ハンギングバスケットマスター

太田 康徳 氏

「ハンギングバスケットの魅力は、立体感だと思います。この先どのように生長していくのかを想像することが最大の楽しみですね。」

生け花のように、その一瞬の美を表現するのではなく、植物の生長を予想し、吊り下げた鉢を利用して花を育て、飾る方法が注目されている。「開花の時期を考えて花を選ぶだけでなく、多種類の花に合わせた土を選ばなければなりません。そして、それぞれの花が求めている量とタイミングを考えての水やりが必要になります。」

多くの手間がかかるのだが、それが腕の見せ所であり、楽しいという。「小さいころは絵を描くのが好きで、



漫画家か絵描きになりたいと思っていました。まさか、花の世話をすると、思いもしませんでしたね。」

中学・高校の部活動は美術部に所属し、大学ではデザインを専攻。そこで、CDのジャケットやポスターのデザインを手掛けていた。大学を卒業後は、JAあいち三河に就職し、下青野町にある「ふれあいドーム」に勤務となった。そして、当時の店長に頼まれ、何もわからぬまま、花売り場の担当者になった。

「はじめは、花の名前がわからず、土をいじることや、花の世話をすることも嫌でした。」

そのような状態で、花売り場に立っていると、お客さんから、

「あなたは、何のためにいるの。」

と言われ、悔しくて必死で勉強をしたという。

「売り場でお客さんに説明ができるようにしたかったです。だから、植物についての本を読み、わからないことは、専門家に聞きました。初めのうちは、失敗の連続でしたが、あきらめずに、何度も挑戦したのが、

よかったのでしょうかね。」

平成十三年には、日本ハンギングバスケット協会マスターの資格を取得。現在は、東阿知和町の「農遊館」に勤め、同施設や市の講座などで講師を務めながらコンテストにも参加をするようになった。そして昨年度、名古屋で開催された第一回フラワードームハンギングバスケットコンテストで最高の金賞受賞をはじめ、多くのコンテストで表彰されるほどになった。

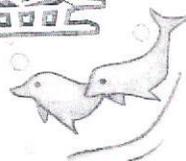
「賞をとることも目的の一つですが、それ以上に新しい出会いを求めています。コンテストに参加をし、新しい作品や、新しい人と出会うことが楽しみなのです。そのことが次の制作の意欲になりますからね。そして自分が楽しいと思ったことだから、講座で伝えることもできます。」

太田さんが講師を務める講座は、楽しいと評判で、申込みはすぐに定員に達するほどの人気であるという。「今大切にしていくことは、お客さんが、何に関心があり、何を求めているのかを聞くことです。」

『環境』がテーマとなった今年度のコンテストでは、お客さんからヒントをもらい、エコバッグを素材にして、豊かな地球を表現したことが高く評価された。お客さんとの会話を楽しみ、花の楽しさを伝えたいという太田さんの次の作品が待ち遠しい。

氏名 おおた やすのり  
生年月日 昭和五十三年一月九日  
住 所 岡崎市袖越町

# 羅針盤



「できる楽しさ」へ

保健体育科指導員 中野渡 善樹

「楽しい体育」が叫ばれ、生涯体育に向けて個を大切にする学習過程が試みられてきた。こうした中で、学習内容としての技能が見られない授業に出会うことがある。主体的に取り組んでおり、友達とのかかわりもあるものの技能が保障されていない。体育は技能教科である。技能が伸びたとき、新しい技能を獲得したときこそ、本来の楽しさが味わえるはずである。

体力の低下、運動をする・しないの二極化など、問題が顕著になり、学校体育への期待は大きい。今こそ、技能教科として「できる楽しさ」への転換が必要である。一斉指導中心のトレーニング的体育に後戻りするわけではない。技能の系統性をふまえ、学習内容を明確にした学習過程



## 子供たちへの 最高のごほうび

矢作南小 原田 真弓

昨年、矢作南小では創立百周年を記念して、二日間にわたり数々の記念行事が開催された。その中の一つに「百周年だよ！矢南ビッグカーニバル」という、四年生以上が学級ごとに店を出す子供たちのお祭りがあった。児童会で話し合わせ、子供たちに出された約束は、「百周年か矢南小に関する店であること」であった。本学級六の二の子供たちはやる気満々だ。しかし、百周年とは結びつかないゲーム、子供たちが大好きだけれど準備が大変な肝試しなど、現実味を欠いた意見が出るばかりで一向にまとまらない。六年生ならもっと先を見通した話し合いを願うのだが、何度採決をとっても肝試し。「じゃあ、やれるものならやってみ

らん」と、児童会の約束を守る条件で、しぶしぶ肝試しを認めた。

「矢南小の卒業生の本多光太郎先生のお化けを出したらいいと思う。」

「それよりも、暗くするために光太郎先生の丸い眼鏡を作ってお客さんにかけてもらったらどうかなあ。」

「暗くするためには、段ボールでトンネルを作って迷路にするかと思う。部屋に運び込めるし。」

学級会での話し合いを聞きながら、正直何度も舌を巻いた。名前は、なんと「百年たった恐怖の本多光太郎屋敷」に決定した。子供たちの発想の豊かさに驚くとともに、僕たちはやりたいのだ、という熱意がひしひしと伝わってきた。子供たちの能力や思いを過小評価していたことを本当に申し訳なく思った。

「先生、段ボールもらってきたよ。」

夕方、職員室前の薄暗い廊下に、両手いっぱい段ボールを持つA男とB男がいた。天真爛漫な二人の笑顔にじんとした。何が何でもやり遂げさせて、子供たちに達成感を味わわせたい。そう強く思った。

子供たちとの試行錯誤の日々が始まった。本番まで、約三週間。子供たちが分担した受付、お化け、トンネル迷路、眼鏡など、係ごとに分かれて準備を進め、リハーサルを繰り返す。



▲ トンネル迷路

返す。これは無理だと予想できても、時間の許す限り実際にやって実感できるようにした。

「トンネル迷路の天井に新聞を張ってみたけれど、暗すぎるし立つとすぐに破れてしまった。だから、次回には破って丸め、迷路にばらまく。小さい子が楽しめる肝試しにしたい。」

子供たちの反省カードには、反省と今後の解決策、次回の仕事がいかに書かれていた。係での反省会では、内気な子も気後れせず積極的に意見を言えるようになり、真剣な表情がどんどん輝いていった。みんなで真剣に検討、実践し、一つのものを作り上げていく。それは、ごくごくするような一体感であった。

「先生、見て。すごく長い行列。」

当日、上気した顔で行列を指差す子供。この長い行列は、頑張った子供たちへの最高のごほうびとなった。

を創造する必要があると考える。

五年生の「表現運動」の授業で教師の太鼓の音に合わせて、子供が多様な動きをつくる場面を見た。強弱・テンポを変えた太鼓の音と「小さなポーズで」「目にもとまらぬ速さで」など、動きを引き出す巧みな言葉かけで、動きのバリエーションが体感されていく。主運動（作品作り）に結びつく表現運動の基礎・基本となる動きが教師のリードで見事に獲得されていた。

三年生の「かけっこ・リレー」では、準備運動の後に競走やゲームを取り入れて、子供が走ることに熱中していく場面を見た。「大股・小股ゾーン」「けんけんゾーン」などのコースを設定した場の工夫で、運動場をいろいろな走り方で駆け回る。運動量が確保され、走ることの基礎・基本が確実に身に付いていた。

主体性も子供同士のかわり合いも、生涯体育に向けて必要な資質ではある。しかし、まずは、一時間の中で十分な運動量を確保し、技能の基礎・基本を確実に押さえたい。教師の教材研究がより重要になる。

「今日ね、体育の授業でこんなことができるようになったんだよ。」と、目を輝かせる姿に出会いたい。



▲ 心と体を鍛える空手道

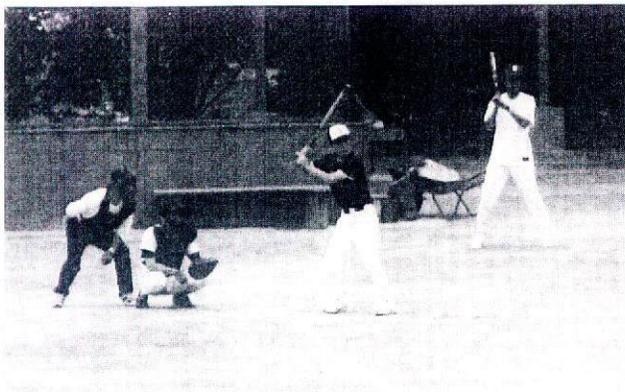
「生涯スポーツ」という言葉が聞かれるようになって久しい。生涯を通じて、健康の保持・増進やレクリエーションを目的に「だれもが、いつでも、どこでも気軽に参加できる」スポーツのことを指す。

岡崎市では、「市民に日常生活の中でスポーツ活動に親しむ機会を与え、健康の保持増進と体力の向上、地域スポーツクラブの発展および育成を図るため、市立小学校及び中学校の体育施設をスポーツ活動の利用に供する」という趣旨のもと、昭和四十六年度からスポーツ開放事業が運営されている。

今年度、一、二三三団体、延べ二八、一五三人が、この事業に登録している。そのうち、およそ一万人が小中学生である。そして、小中学生対象に、空手道や剣道などの武道やバスケットボール、バレーボールなどが行われている。

昨今、子供が思いきり体を動かす場所がない中、学校の部活動以外でスポーツに親しむ場として、多くの子供が活動している。体力の向上だけでなく、スポーツを通して、地域の大人、異年齢の子とふれ合う場として、大きな価値がある。

生涯にわたってスポーツを楽しみ、その楽しさを大人が子供に伝える。そして、その子供がいつか大人になったとき、次の世代にその楽しさが伝わっていく。そういった役割の一端を、スポーツ開放事業は担っている。



▲ 地域対抗ソフトボール



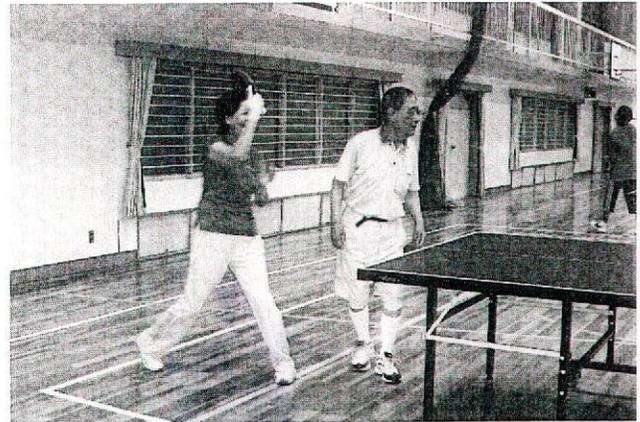
▲ ミニソフトバレーで運動不足解消

平成21年度  
スポーツ開放事業登録団体数・延べ人数

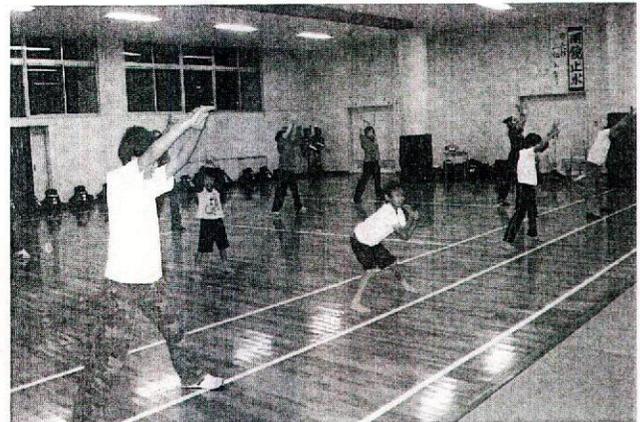
小学校施設利用	916 団体	23,505 人
中学校施設利用	217 団体	4,648 人
計	1,133 団体	28,153 人

小中学生対象の登録団体種類

- ・バスケットボール ・バレーボール ・ソフトボール
- ・ドッジボール ・ミニソフトバレー ・サッカー
- ・ラグビー ・ミニテニス ・バドミントン
- ・軟式野球 ・卓球 ・インディアカ ・グラウンドゴルフ
- ・剣道 ・空手道 ・少林寺拳法 ・合気道
- ・よさこい踊り ・新体操 ・レクリエーション など



▲ 年齢に関係なく楽しめる卓球



▲ 大人も子供もよさこい踊り

▶ 本格的な練習で盛り上がるバレーボール



▶ 熱のこもったバスケットボール指導

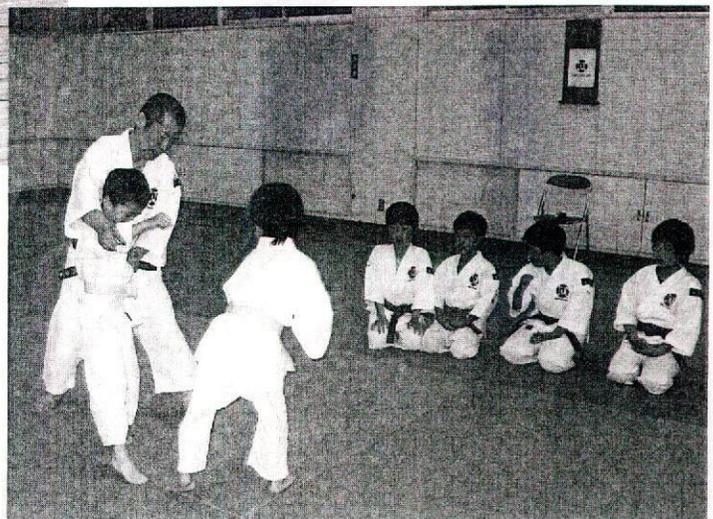


続けていきたい  
私は空手が好きです。五歳から習っています。大人や中学生に混じって練習すると緊張しますが、強くなるのができてうれしく思います。学校の部活動以外に運動できる場所があつて良かったです。疲れますが、好きでやっていることなのでもっとがんばって強くなりたいです。大人になっても空手を続けていきたいと思っています。

(小学校五年)

異年齢の交流を  
指導をしていて一番楽しいことは子供たちの成長です。やりたい子供が集まり、一生懸命練習し、上手になるところを見ていると、幸せな気持ちになります。また異年齢の子供、大人の交流が人間関係を構築していく上で、重要だと思えますし、大切にしていくことです。

(バスケットボール指導者)



▲ 合気道で技を磨く子供たち

# お知らせ

## ●教育最新情報

### ○出席状況が良好でない児童生徒への対応

学校教育法第16条、17条、および144条に就学の義務について示されている。また、学校教育法施行令に次のように定められている。

第19条 小学校、中学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長は、常に、その学校に在学する学齢児童又は学齢生徒の出席状況を明らかにしておかなければならない。

第20条 小学校、中学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長は、当該学校に在学する学齢児童又は学齢生徒が、休業日を除き引き続き7日間出席せず、その他その出席状況が良好でない場合において、その出席させないことについて保護者に正当な事由が



ないと認められるときは、速やかに、その旨を当該学齢児童又は学齢生徒の住所の存する市町村の教育委員会に通知しなければならない。

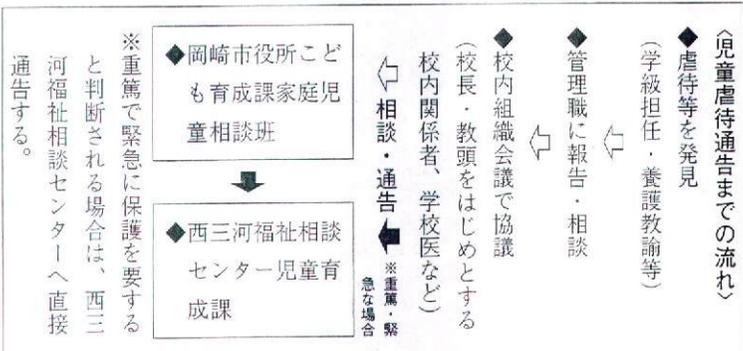
第21条 市町村の教育委員会は、前条の通知を受けたときその他当該市町村に住所を有する学齢児童又は学齢生徒の保護者が法第17条第1項又は第2項に規定する義務を怠っているとして認められるときは、その保護者に対して、当該学齢児童又は学齢生徒の出席を督促しなければならない。

以上のことを踏まえ、学校では児童生徒の状況及び所在を明らかにしておく。また、第20条に該当する場合には、市教育委員会が定めた事故報告の形式で状況を報告し、督促状を出すことを依頼するとともに、継続的に連絡を取り、出席を促す。

### ○児童虐待に係る関係機関との連携

児童虐待等による児童生徒の要保護に関しては、市役所のこども育成課家庭児童相談班（☎二二二一六七四五・六七五九）に校長が相談・通告する。ただし、重篤な場合は、西三河福祉相談センター（☎二二二一六七七九）に通告する。なお、通告は文書による通告が望ましい。

#### 〈児童虐待通告までの流れ〉



### ●少年自然の家だより

#### ○主催行事のスタート

今年度も、市内小中学校全校六十九校が計画に基づいて宿泊を伴う山の学習を始めた。今年度、学校の利用希望が集中する月は、休所日の月曜日にも月一回臨時に開所し、希望に沿うようにしている。小学校は五年生、中学校は一年生が対象だが、学校やブロックによっては複数学年や隣接校が合同で同時利用をしている。また、少年自然の家が主催している数多くの行事もある。講師を招いたり、所員が講師になったりして実施している。春の植物ウォッチング、年八回実施するネイチャークラブ、ほたるに親しむ夕べ、初夏の虫ウォッチング、ワールドキャンプ、すぶちの秋にふれあおう、山の木で工作、星空に親しむ集い、などである。募集要項は、市政だより「おかげさまで」で広報している。そのほか夏休み期間中や日曜日は、子ども会など市内外の各種団体が利用している。

### ○落ち葉スキー場、所内の道標の整備

多くの子供に人気のある落ち葉スキー場、スキーそりを整備・作製した。ゲレンデに敷きつめてある松葉を全て取り除き、土を入れ替え、勾配を按配し、面をならした。その後、ゴルフ場から搬入した松葉を敷きつめてすべりやすくした。機械が使用できない場所のため、全て人力で作業を行った。

また、山中の遊歩道の道標や案内板を補修したり新設したりしている。表示板は焼き板で作製し、遊歩道の方向や現地の地形を考慮して道標を設置している。子供たちが快適に山中を散策したり、観察したりできるように所員一同、日々整備に努めている。





●種目別競技

種目	性	優勝	2位	3位
陸上競技	男	六ツ美北	葵	南
	女	矢作	竜海	竜南
バスケットボール	男	北	附属	矢作 竜海
	女	北	美川	六ツ美北 六ツ美
バレーボール	男	矢作	六ツ美	六ツ美北 東海
	女	矢作北	六ツ美北	竜海 南
ソフトテニス	男	矢作	矢作北	河合 北
	女	矢作北	竜海	城北 甲山
卓球	男	六ツ美北	額田	竜海 南
	女	北	矢作北	竜海 美川
体操	女	東海	南	矢作北
新体操	女	東海	矢作北	竜海
剣道	男	矢作北	甲山	北 竜海
	女	額田	矢作北	甲山 六ツ美北
ハンドボール	男	六ツ美	葵	美川
	女	美川	六ツ美北	竜南
軟式野球	男	甲山	矢作	額田 葵
ソフトボール	女	矢作北	城北	矢作 甲山
柔道	男	六ツ美北	竜海	矢作北 甲山
	女	矢作北	竜南	六ツ美北
サッカー	男	竜海	北	南 附属

●個人戦競技 (1位のみ)

種目	性	階級・部門	氏名	校名
柔道	男子	軽量級	安達直輝	竜海
		軽中量級	鈴木聖悟	竜海
		中量級	吉光峻亮	矢作北
	女子	軽量級	鈴木佑知	北
		軽中量級	吉田咲月	甲山
		中量級	梶田夏子	矢作北

●陸上競技 (個人・1位のみ)

性	種目	氏名	校名	記録
男子	1年100m	黒木省悟	矢作	13"3
	100m	青木啓太	六ツ美北	12"1
	200m	二宮聡史	甲山	24"8
	400m	深谷亮介	竜海	57"2
	800m	菅沼絢斗	竜南	2'10"0
	1年1500m	稲葉康太	葵	4'44"5
	2年1500m	西山令	葵	4'24"1
	3000m	成瀬雅俊	六ツ美北	9'35"6
	110mH	加藤佑恭	竜海	17"0
	400mR	葛谷③ 宮崎②	六ツ美北	49"1
		山本③ 青木③		
	低400mR	浅野② 道崎①	六ツ美北	52"1
	山田① 酒井②			
	走り幅跳び	二宮聡史	甲山	6m31
走り高跳び	宮川甲伊	竜海	1m65	
砲丸投げ	照井優作	葵	10m26	
棒高跳び	高田凌	矢作北	新3m80	
女子	1年100m	村越優里奈	六ツ美北	14"0
	100m	山田めぐみ	竜南	13"4
	200m	市岡寧愛	竜南	28"0
	1年800m	河野菜美	六ツ美北	2'42"5
	800m	田中美希	竜南	2'30"5
	1500m	杉浦貴恵	竜海	5'04"5
	100mH	齊藤早希	甲山	16"5
	400mR	市岡③ 山田③	竜南	54"7
		江崎③ 石川③		
	低400mR	杉浦② 深谷①	竜海	59"1
	近藤① 山口②			
	走り幅跳び	浅井真子	城北	5m16
	走り高跳び	名倉日向子	六ツ美	1m40
	砲丸投げ	中根有那	六ツ美	10m20

種目	性	階級・部門	氏名	校名
体操競技	女子	個人総合	小栗奈穂	東海
		床	小栗奈穂	東海
		平均台	太田美希	矢作北
		跳び箱	小栗奈穂	東海

●表彰

◆第二十八回二〇〇九津軽三味線全国大会 (ジュニアの部)

優勝 甲山三年 加藤佑典

◆第十六回愛知県ウオーカランサンブルコンテスト 中学生部門

金賞

[Jelly Beans 岡南] チーム

(合唱部二年十一名)

[マカロン岡南] チーム

(合唱部二・三年十一名)

◆第三十三回愛知県中学生女子ソフトボール大会

優勝 矢作北中

◆第二十一回愛知県中学生弓道錬成大会

団体男子

優勝 額田中学校

(平子・小嶋・石谷・櫻井)

※全国大会出場権獲得

個人男子

第四位 額田三年 平子嘉浩

◆全国中学校選抜ソフトテニスを

発展させる会第二十二回研修大会

第五位 矢作北中学校

◆はまなす杯第三回全国中学校

校空手道選抜大会

第三位 南中 年代海里

・カ  
ツ  
ト  
東  
海  
中  
鈴  
木  
孝  
司

# 伊勢湾台風襲来

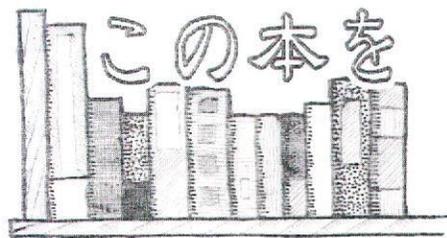
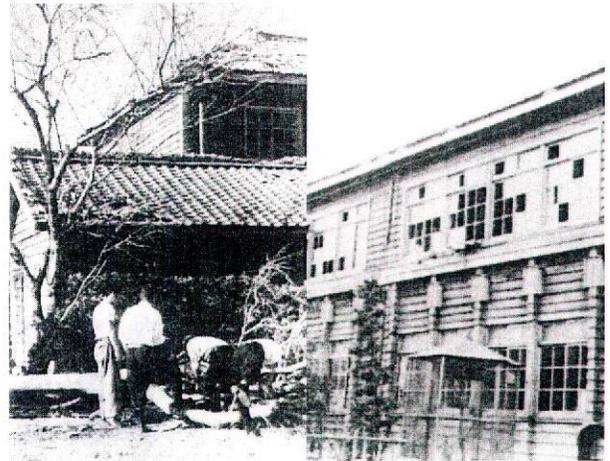
## (昭和34年)

写真提供：六名小学校

昭和三十四年九月二十六日(土)、伊勢湾台風が東海地方を襲った。犠牲者は五千人以上。岡崎市内の小中学生四人もこの中に含まれる。今年で、ちょうど五十年になる。

台風襲来の日、岡崎市の多くの小学校は運動会の前日だった。そして、被害の大きかった学校は、運動会そのものを中止した。翌日登校した四年生以上は、運動会の演技のかわりに、飛び散った屋根瓦やガラスの破片を拾った。三年生以下は家庭学習を余儀なくされ、教室で授業のできない日が少なくとも一週間は続いた。その間、学校を早く再開するために地域の方も協力して復旧作業に取り組んだ。

今は、耐震化も進み、体育館等は災害時の避難場所に指定されている。



### \* 教師魂の職人であれ

森田 薫・原 清治

ミネルヴァ書房 ￥1,890

\* 人生の流儀 城山 三郎

PHP研究所 ￥1,155

\* 野村主義 野村 克也

小学館 ￥1,575

\* 老子・荘子の言葉 境野 勝悟

三笠書房 ￥533

\* 自分を育てるのは自分 東井 義雄

PHP研究所 ￥1,260

「人生はほんとうの私にめぐりあうための旅」十代の子供たちにむけたメッセージである。

本書は、昭和55年から2年間、岡崎の六ツ美地区での講演をまとめたものである。子供の感動から学ぶ東井先生の愛の深さははかり知れない。人生に光をともし教育に触れた思いがする。先生の言葉は、戸惑う子供たちを支える私たちの指針となっている。

北野小 岡本 孝幸

大きなかけ声とともに「突き」を出す。その真剣なまなざし。指導者の声にも熱が入り、体育館に心地よい緊張感が漂う。スポーツを通して、子供たちが地域の方と交流することは、地域の方が子供たちを見守ってくださることにつながる。地域を愛する心を育てたい。

# シ オ ス ア

市民会館を埋め尽くす大勢の岡崎市民。市制九十三周年の記念式典が行われた。ところで、子供たちはふるさと岡崎についてどれくらいのことを知っているだろうか。体験を通して、学校では学ぶことができないことを数多く経験して、岡崎をより好きになることを願っている。

アーチを描いてボールが飛ぶ。シュツという音とともに、ネットが揺れる。これまで何千本のシュートを打ってきたことか。

夏の大会。勝負にこだわらないチームはないだろうが、最後まで負けないチームは、一校しかない。部活動を終えるとき、子供たちには何が残るのだろうか。

寸暇を惜しんで花売り場をまわり、お客さんと語る太田さん。花について語り合うことは、新たな発見もあり、楽しくて仕方がないということが、その表情から伝わってくる。そして、学んだことを、講座で伝えることが、また楽しいという。教師の学ぶべき姿がそこにある。